

## 公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

# 令和6年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

決勝 【 56 】

主審  
署名

金泐 佑亮

日時

2025 年 2 月 9 日 (日) 13 : 40

会場

アスパ五色メイングラウンド

天候

晴れ

強風

天然芝・人工芝・クレー

状態

良好

試合形式

70分 / 延長 20分 / PK戦有

運営責任者

笠原 弘樹

会場主任

石塚 俊一

記録

芝切 淳 / 後藤 大輔

観衆

525 人

主審

金淵 佑亮

副審1

藤原 悠人

副審2

草山 誠

第4の審判員

小椋 博文

チーム名

報徳学園高校

1

1 前半 1

0 後半 2

延前

延後

PK戦

kick off

チーム名

神戸弘陵学園高校

3

P 選手番号

K 先 O ×

交代

No.

OUT時間

延後

延前

後半

前半

選手名 (学年)

番号

位置

位置

番号

選手名 (学年)

前半

後半

延前

延後

OUT時間

No.

分

小原 悠杜 1年

1

GK

GK

1

宮森 司 2年

分

分

堀田 誠之助 2年

58

DF

DF

21

信宮 一稀 2年

1

分

分

林 誠那 2年

72

DF

DF

2

今井 凖太郎 2年

66分

分

山下 颯大 1年

3

DF

DF

14

川崎 絢梧 1年

分

分

1

吉田 朔真 2年

45

DF

DF

19

玉田 葉流 2年

70+2分

分

中里 瞭希 2年

22

MF

MF

6

梅原 良弥 2年

分

分

高柴 龍之介 2年

48

MF

MF

8

松浦 旺生 1年

1

分

63分

近田 亮真 1年

7

MF

MF

15

高嶋 胡汰郎 2年

2

HT分

44分

谷木 綾真 2年

15

MF

FW

11

池 杏樹 2年

4\*

3\*

分

55分

1\*

大谷 徠 2年

40

MF

FW

20

鈴木 峻也 1年

2

62分

分

太田 悠斗 2年

50

FW

FW

10

野元 幹太 2年

3\*

66分

分

河島 直透 2年

12

GK

GK

12

山岡 恭大 1年

分

分

西 倫平 2年

16

DF

DF

4

矢野 秀汰 1年

分

19

分

滝 星夏 2年

54

DF

DF

5

星山 蒼空 1年

分

分

濱田 董介 2年

92

DF

DF

27

仙波 昊大 2年

分

2

40分

本池 煌士郎 2年

43

MF

FW

7

外嶋 亮太 2年

分

分

堀江 丞 2年

49

MF

MF

18

高田 茶太郎 2年

分

10

7分

森川 悟志 2年

68

MF

MF

30

小林 晴喜 1年

分

分

真下 大輝 2年

94

MF

FW

9

白石 蒼悟 2年

分

20

15分

今西 諒輔 2年

30

FW

FW

29

丸山 瑛太郎 1年

分

15

時間

警・退

No.

氏 名

事由

合計

延後

延前

後半

前半

チーム合計

前半

後半

延前

延後

合計

時間

警・退

No.

氏 名

事由

分

2

0

2

シュート

9

7

16

分

分

13

5

8

G K

7

5

12

分

分

5

1

4

C K

2

2

4

分

分

2

1

1

直接F K

2

5

7

分

分

0

0

0

間接F K

0

0

0

分

分

0

0

0

P K

0

0

0

分

【警告事由】

反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去

【退場事由】

不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間

チーム

No.

得点者

スコア

【得点経過】

略号例：ドリブル〜・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS

3分

報徳

40

大谷

1 - 0

右 7 → 58 ~ ○ 中央 40 S

27分

神戸弘陵

11

池

1 - 1

右 19 ○ 中央 こぼれ球 11 S

45分

神戸弘陵

11

池

1 - 2

左 8 → 11 ~ S

61分

神戸弘陵

10

野元

1 - 3

左 11 → 10 ~ S

分

—

分

—

分

—

分

—

分

—

分

—

分

—

戦評

戦評者

所属

【 神戸国際附 / 兵庫 】

氏名

【 石塚 / 筒井 】

報徳1-4-4-2、神戸弘陵1-4-3-3の形で試合開始。前半3分、報徳は7近田のパスから58堀田が抜け出しクロスを上げる。これを40大谷がボレーで決めて開始早々、先制点を挙げる。対する神戸弘陵は失点に慌てることなく、ボールを保持しながら攻撃を組み立てる。サイド攻撃を起点に決定的な場面も作り出すが、なかなか決め切ることができない。報徳は守備において選手同士が適切な距離感を保ち、ミドルゾーンに入ってきたボールを前向きに奪い、素早い攻撃を仕掛ける。50太田のスピードある飛び出しが神戸弘陵のDFラインを脅かす。前半20分頃から神戸弘陵は右サイドから左サイド11池への大きなサイドチェンジをする展開でチャンスメイクをし始める。すると、27分神戸弘陵19玉田のクロスから混戦のこぼれ球を11池が拾い、コントロールされたシュートを決め同点に追いつく。後半になっても試合の構図は変わらない。神戸弘陵は左右に相手を揺さぶり、サイド攻撃で多くのチャンスを作り出す。11分には11池が左PA角から大きく弧を描いたシュートを決め、追加点を挙げる。さらに、61分神戸弘陵10がカットインから右足を振り抜き3点目を決め、報徳を突き放す。神戸弘陵は最後まで主導権を渡さず、粘り強く戦う報徳を振り切り、今シーズン最初の栄冠を勝ち取った。

[備考]